

執筆：SecurityScorecard 藤本 大

編集：SecurityScorecard 橋本 詩保

Why SecurityScorecard? SecurityScorecard は サイバー リスク レイティング マーケットで Leader として評価を受けています

今日のあらゆるものが複雑に絡み合っている世界では、企業はセキュアで信頼できる技術的パートナーシップに依存しています。この拡張されたネットワークは、効率性ととともにデータ侵害リスクをも増大させています。組織の取引先や、更はその先の取引先がデータ侵害に遭った場合、この相互に結びついたITエコシステム全体に波及する可能性があります。

また、政府や業界標準化団体は、ますます厳格なデータ プライバシーとセキュリティの義務を適用するようになってきています。組織は、ビジネス パートナーや取引先など、組織のサプライチェーン全体に対するガバナンスを実証する責任が求められています。

SecurityScorecard のセキュリティ レイティング プラットフォームは、複雑なITエコシステムに内在するサイバー セキュリティ リスクに対する、再現可能な、拡張性のある実用的な洞察の必要性から生まれました。このプラットフォームは、経営陣や IT 責任者とのコミュニケーションを円滑化するための共通言語を作成します。

セキュリティ レイティングとは？

セキュリティ レイティングでは、インターネット全体から公開されているシグナルを活用して、組織のセキュリティの状態とIT サプライチェーン パートナーのセキュリティの状態を詳細に調べます。次に、データにアルゴリズムを適用し、信用格付けと同様に、A~D/F及び100点満点の形式でフィードバックを提供します。これらのセキュリティ評価は、組織のセキュリティの現在の状態を一目で把握できるようにします。また、将来のセキュリティ侵害の可能性を予測するためにも使用できます。たとえば、弊社調べによると、SecurityScorecard の評価が「F」の組織は、「A」の組織と比較して、侵害される可能性が7.7倍高いことが確認されています。

続きを見たい場合は

メーカーBlog^

<https://securityscorecard.com/why-securityscorecard-the-leader-in-the-cybersecurity-risk-ratings-market-jp>

